

1989

秋山報告書

川つをつかまえて
フリーズを買おう!!



浪高

大田池

信州大学山岳会

目次

- ・9/12 ~ 9/15 甲斐駒 ~ 鋸岳
- ・9/18 ~ 9/19 岳沢
- ・9/24 屏風岩 雲後, 大スラブルート
- ・9/30 明星山 P6 南壁 左岩稜, 左右仄
- ・10/7 ~ 10/8 前穂北尾根
- ・10/21 ~ 10/23 甲斐駒 ~ 甘利山
- ・11/3 ~ 11/6 明星山 P6 南壁 左右仄, 左岩稜, 正面壁, 直上
クイーンズウェイ
- ・11/12 雨飾山
- ・11/17 ~ 11/19 塩見岳

9/23 ~ 9/24 滝后
伝ノ尾根

甲斐駒・黄蓮谷・鋸岳 Ⅱ 兼岩・河西

- 9/12 ① 7:20 竹宇駒ヶ岳神社 ————— ② 12:45 五合目小屋 —————
 ③ 14:20 白稜の岩小舎

偵察に行く。巨大な雪渓がスノーブリッジとなり沢がたいの通過は困難なので右岸をたかまことにする。

- 9/13 ① 5:25 岩小舎発 ————— ② 8:30 ころ撤退決定 —————
 ③ 10:10 五合目小屋 ————— ④ 12:50 甲斐駒頂上 ————— ⑤ 14:35 六合目石室
 = 俣の手前の滝の高巻えがでえそうになかった。中アの東川だけでは
 力がついていない。“登る”という自信をつけてはいけない

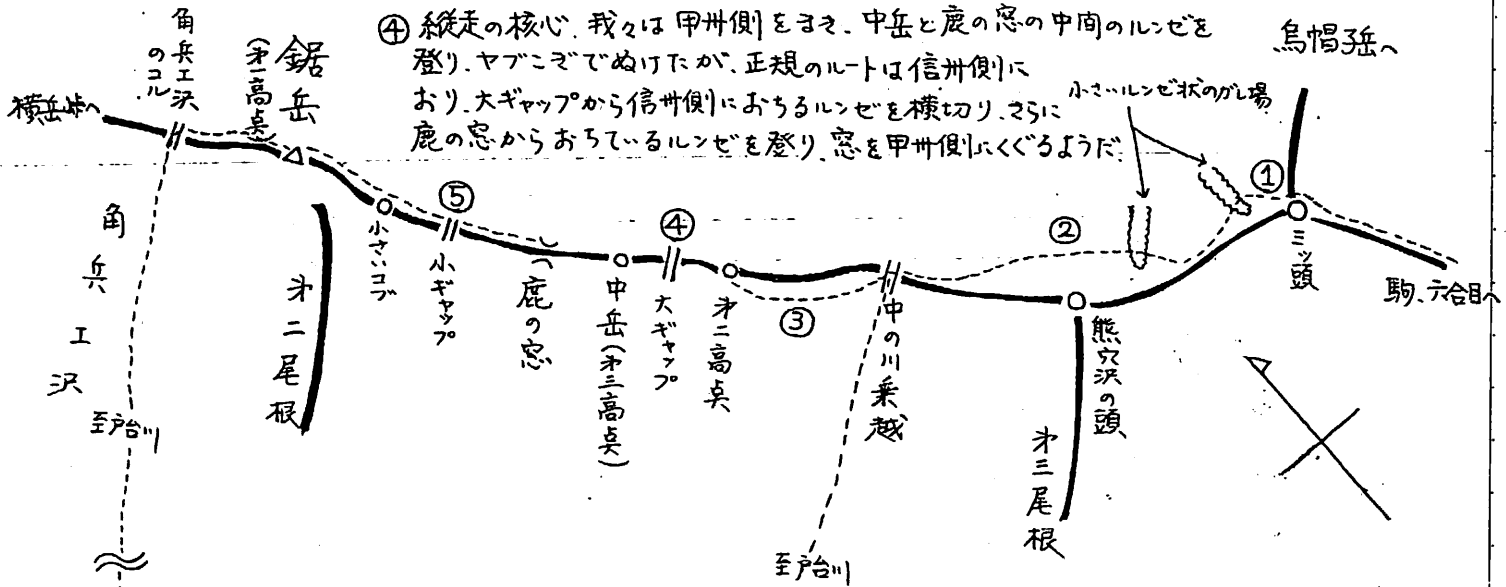
- 9/14 ● 5:30 石室発 ————— ● 7:30 中の川乗越 ————— ● 8:00 オニ高嶺 —
 — ● 10:30 鹿窓 ————— ● 11:00 鋸岳 (オニ高嶺) —————
 ————— ● 大岩の岩小舎 13:00

角兵衛沢の下りでカモシカ君とニラメッコしてました。
 水は岩小舎の基部からとれる

- 9/15 ① 6:30 岩小舎発 ————— ② 8:00 戸台川の河原 —————
 ————— ③ 10:50 スーパー 林道のゲート

(記. 河西)

鋸岳概念図



- ① ミツ頭からやや下ると鳥帽子岳からの尾根が合流する。ここに長谷村のアートがあるが見落ししやすい。甲州側をまよりにしてちょっと下ると、かしたルンゼを横切り主稜へ出る。
- ② 強烈な倒木帯。赤布等ほとんどなく慎重なルートファインディングを必要とする。なお、甲州側をまよりにして稜線ぞいに行く踏跡もあるようだが不明
- ③ 信州側のガレ場を登る。
- ④ 縦走の核心。我々は甲州側をまよ、中岳と鹿の窓の中間のルンゼを登り、サブコソでぬけたが、正規のルートは信州側にあり、大ギャップから信州側におちるルンゼを横切り、さらに小ニ尾根状のガレ場、鹿の窓からおちているルンゼを登り、窓を甲州側にくぐるようだ。

⑤ 駒→鋸はローザイルで行けるが、鋸→駒は懸垂した方が早い

(冬) 信州側に落ちたらヤバイ。大ギャップの通過はどちらから縦走するにしてもかなりツライと思う。また②は赤布をつけておかないと迷うと思う。

参考「岳人」403、505、「山溪」613
480

(記、河西)

2

立岩よりでかい
2000米付近
大岩の岩小屋
基部がリング
樹林帯
暗くなったときは見付かす
下降しようなので注意

△ 橋口 上高地～岳沢上高地

9/18 11:10 上高地発 ●
2:40 岳沢着 ●

9/19 12:00 岳沢着 ●
1:00 上高地 ●

本日は上高地から穂高の系徒走のつもりであったが
風雨が激しい台風が接近していたため、引きかえに
きた

9/24 雲稜 〆 牧野、河西

○5:30 TS 発 ———— ○6:10 T4 取付 6:30 登攀開始 ————
○7:40 T4 (先行パーティーが3つもある) ———— ○9:40 扇岩テラス
○13:50 終了点 ———— ○15:10 屏風の頭 ———— ○17:00 洞沢
○18:30 横尾 BC ———— ○20:15 BC 発 ———— ○23:00 上高地

扇岩テラスから人工の次のピッチ、トラバースに入る手前抜けそうなの
ボルトあり注意。東壁ルンゼと合流してから終了点まで先行パーティー
の落石がコワイ

(記. 河西)

大スラブルート… シモヒラ・ハットリ

9/24

5:30 横尾 BC 発

6:30 ルンゼの T4 尾根末端の少し上でザイルを出す

16:30 終了, BC 着 19:40, 上高地 23:00

* ルンゼを4ピッチ登り、横断バンドをたどって大スラブルート
の取付をにつく。横断バンドは泥の草付で不快。取付を
は1つめのボルトラダーを過ぎて2つめのボルトラダー。ルートは
ボルト間隔の遠い人工で、ほとんど3ツミの最上段にのりか
は少ない、上部はうっしゝの灌木帯。スタートで8P、灌木帯
はコンテ。

9/30 明星山 P6 南壁 左岩稜

△ 植垣, 兼岩, 加藤

6:50 取付

13:00 大岩 11P 大糸とおリ

松下とVIP-アールと一緒に下りる

15:45 @ B.C.

左岩稜は、岩もかたく、川-人工と、なかなかなおもしろいルートである。

(兼岩)

9月30日 左フェース

△ 松下, 小滝

① 5:45 出発

① 5:55 取付

① 7:15 登攀開始

9ピッチ

② 13:45 大岩

② 14:40 下降点

② 15:45 帰元

感想 左フェースルートは下部 3ピッチがとてもおもしろい

1ポイントの下りは慎重に慎重を重ねて下りたか

やはり怖い。上部はブッシュ混じりであるが結構

しんどい。(小滝)

明星 はでかい〜な〜 大きいな〜

ボルトは抜けるし 岩が落ちる〜!

4

前穂北尾根 兼岩, 長谷川, 加藤

10/7 ⑥ 6:30 上高地

パノラマ新道

⑥ 13:00 涇沢 T.S.

10/8 ⑥ 6:00 T.S.

⑥ 6:55 5・6のCOL > しっかりした道有り。

⑥ 8:30 3・4のCOL > 4峰を左に巻いてしまう。尾根通しが正解。

⑥ 10:10 前穂本峰 3峰から3・2のCOLへは、少しやなクライムダウン。

⑥ 16:00 上高地

3峰は、3Pスタカトで登る。2P目は、岩の間にはまるようにいく。左にいくと少し洗いスラブ(AOで引き)になる。

涇沢の秋は、とてもきれいだった。しかし、冬が訪れてきて、重太郎新道で一人ささっていらしてしまっただ。(兼岩)

甲斐駒・鳳凰・甘利山縦走 河西・植垣・橋口

10/21 ① 7:30 北沢峠 → ① 8:40 仙水峠 → ① 10:50 甲斐駒

→ ① 13:10 仙水峠 → ⑥ 栗沢の頭付近 TS 14:40

葉を落した甲斐駒は摩利支天や奥壁がよく見えた。夜半に雪。

10/22 ⑥ 6:10 TS巻 → ① 6:45 アサヨ峰 → ① 9:05 広河原峠

⑥ 12:00 赤坂沢の頭 → ⑥ 13:00 観音岳 → ⑥ 13:20 薬師岳 TS

鳳凰山では風が強く寒かった。時々小雪が舞う

10/23 ⑥ 6:40 TS巻 → ① 7:20 南御室小屋(朝メシとる) →

① 8:40 萁平 → ① 10:00 大ナジカ峠 → ① 11:15 千頭星山

① 13:20 甘利山 → ① 14:30 穂池 → 甘利山登山口までヒッチハイクに成功 → ① 16:30 葦崎駅

千頭星山から甘利山にかけて昼寝には絶好の場所である。

(記. 河西)

5

明星山 P6 南壁 1/3 ~ 1/4 L長谷川 兼岩

1/3 直上ルート

7:20 ① 登ハニ開始 — 5P — 11:00 ① 左フェースの交差点 — 13:45 ① 大岩上 — 15:00 ① BC

取付きは灌木のバンドお下り河原が楽。
大系での 1P を 2P かけて登る。サイルの流れからこの方がよいかも。
V の凹角はかんたん。それより下り小ハングの方がむずかしい。
上部はルートがゆかちおなフェースをぬける。一般に左フェースをぬける
よう。下部ハング帯は一度雨が降るとなかなかゆかない。今回も
2日前に雨が降りまたぬけていて悪かった。

1/4 正面壁ルート

8:15 ① 登ハニ開始 — 14:30 ① 大岩上 — 16:30 ① BC

4P目の白いスラブはラインをはずしてしまつた。左上ぎみに登るよう。
直上ルートより手ごわく感じた。評判よりかなりおもしろいルート。

1/4 直上ルート カサイ. 植垣

8:00 ① 登攀開始
14:40 ① 終了 大岩
16:30 ① 展望台 B.C.

途中からルートを見失い。左フェースに入り。
清水 RCC を登り。さらに左岩稜に合流。
壁の中を右往左往していた。 (植)

明星山 P6南壁

11/5 左岩稜 西河内 小滝

○7:00 取付 ——— 快神テラスまで 5P ——— ○15:00 大岩 15:30 終
——— ○17:00 TS

11/●6

正面壁 植垣 小滝

- 6:20 ○ 展望台
- 6:40 ○ 取付き
- 7:00 ○ 登攀開始
- 14:00 ○ 終了大岩 ↓ 9P
- 15:00 ○ 展望台

上部のヤブの中で道に迷い 左岩稜へ
抜ける。

昨日まで壁にびしりとはり付いていた
人間がうごきのようになくなり 気持ち
よく登れた。

(植)

11月5日の左フェース。(4牧野) 藤江、永井)
は、1年生が1P目のV-を登れながら、その
いやになっちゃってやめました。

明星山

11/6 左エース L 豊田、永井、藤江

07:00 取付 - 12P - 12:45 大岩着 - 13:10P - 13:56 終了

前日、落ちてはまた1P目のVをAO(左)で登れよかた。(藤江)

11/5 クウインズ・ウェイ L 豊田、植垣

6:50 O 展望台

7:10 | 取付き

7:20 | 開始

11:30 ↓ 中央バント - 2 9P

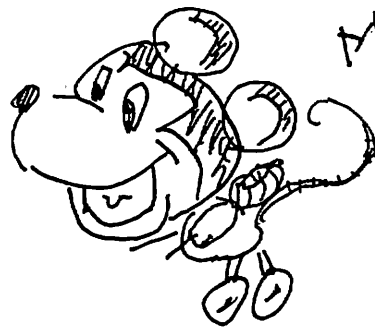
13:10 大岩

中央バントより浩太郎さんが1P登りが
ルートがよく分ならず、落石の崖にうんざり
したため降りてくる。

快適な人工ルートであった。

*詳しくは春山報告書に

植垣



Micky
Mouse

by Nagai.

雨飾山 五 豊田、浦山、長谷川、河西

1/2 ○ 8:20 登山口 ————— ○ 9:40 荒倉沢手前 ————— ○ 11:15 頂上
12:00 ころ巻 ————— ○ 14:00 登山口

前日の夜、大野のコンビニで私が「しばらくゼリー オレンジ味」をレーションにえらん
だ時からこの山行は狂いだした。われもわれもとヘンなものを買いはじめ、頂上
で食ったものといえは、マロンケーキ、プリン、バナナ、キツネウドン、モロキウ……
etc、白馬から日本海への稜線を見ながら「すぐじゃねーか」「下りしかねえ」
など、今となっては口がさけても言えないこととをのたまっていたのだった。アア
小谷 巡のことは書くのはヤメにしよう (記、河西)

塩見岳 小保、松下、兼岩、藤江、小滝
1/7 ○ 7:30 塩川小屋
○ 12:05 三伏峠 B.C 雪 10cm 位

1/8 ○ 6:00 B.C
○ 10:15 塩見岳山頂
○ 14:45 B.C

ポイント通りにしかは、問題ない、ただ、下りは注意。
視界が失くなるとかなりシビアになるでしょう。

1/9 ○ 8:10 B.C
○ 11:30 塩川小屋

塩見は、カッコイイ山頂からの景色も抜群で、とても
良いところですよ。(兼岩)

滝谷 - クラツク尾根
 上野田 橋口 9/23, 24

9/23 上高地 5:30 ◎

岳沢 8:50 ◎

天狗の谷 11:10 ●

シカヶ谷 12:30 ●

奥穂 1:30 ●

白出の谷 2:30 ◎

9/24

TS 5:20 ○

湖沼 5:30 ○

北穂小屋 7:15 ○

行ヶ谷 8:20 ○

利付 開始 8:45 ○

北穂(終) 12:40 ○

湖沼 2:20 ○

上高地 6:50 ○

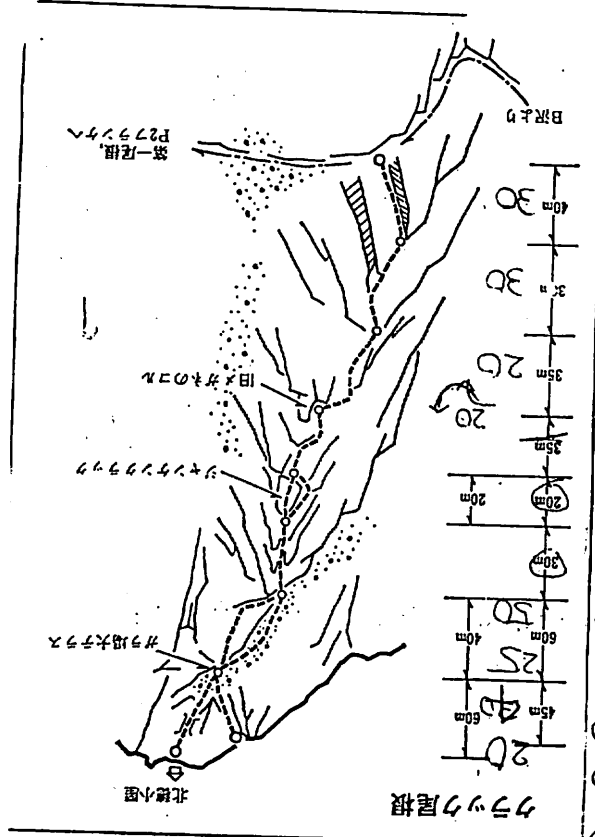
ツバキの谷と長谷は右側の
 修正したものでした。

100%の
 北穂に直接抜けるルート
 ルートをとった。

はじめての予定では奥穂
 橋をのぼる予定でしたが
 天候がよくなると奥穂に
 2分ほどたつたので

おまけ (はら) (はら)

10



秋山 個人山行 報告書

登攀の秋、恋の秋は過ぎ、冬合宿の冬も過ぎようとして
います。そう!! もうすぐ春です。

はるが来た はるが来たどこに来た〜

山に来た 里に来た 僕にも来た〜!!
TEAM LALIPPAPA は今日行く。

印刷発行 松本

1990.2.2

SAC